



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月4日

上場会社名 東ソー株式会社 上場取引所 東
コード番号 4042 URL <https://www.tosoh.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑田 守
問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経営管理室長 (氏名) 坂田 昌繁 (TEL) 03-6636-3713
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月3日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	499,139	△5.4	44,742	△5.6	45,741	1.4	7,377	△70.4
2025年3月期中間期	527,623	8.6	47,387	47.6	45,106	1.6	24,941	△6.6

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 11,309百万円(△71.7%) 2025年3月期中間期 39,910百万円(△10.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	23.21	23.20
2025年3月期中間期	78.32	78.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	1,300,033	889,225	62.3
2025年3月期	1,327,298	902,418	62.3

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 810,321百万円 2025年3月期 827,068百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2026年3月期	—	50.00			
2026年3月期(予想)			—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,020,000	△4.1	103,000	4.1	103,000	△0.0	38,000	△34.5	119.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	325,080,956株	2025年3月期	325,080,956株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	9,264,234株	2025年3月期	6,572,753株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	317,914,707株	2025年3月期中間期	318,440,744株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項等は、添付資料の5ページをご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	P. 4
(4) 研究開発費に関する説明	P. 4
(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 中間連結貸借対照表	P. 6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	P. 8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 12
3. 補足情報	P. 13

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)における世界経済は、インフレの落ち着きと安定的な雇用・所得環境から底堅く推移しましたが、米国の関税政策の影響を受けて先行きの減速見通しを強めております。米国では、内需が底堅いものの、追加関税が招くコスト増と金利高止まりへの懸念が家計と企業マインドを押し下げております。中国は、政府による景気刺激策が下支えしているものの、米中関係や不動産市場の低迷もあり成長は減速傾向です。欧州や日本では、個人消費やサービス需要が堅調な一方、米国の関税政策や中国のデフレ輸出の影響で製造業の業況が下押しされております。

このような情勢下、当社グループの連結業績について、売上高は、為替円高やナフサ価格下落に伴い販売価格が下落したことに加え、南陽事業所の定期修繕規模の違いに伴う生産量の減少により販売数量も減少したことから、4,991億円と前年同期に比べ285億円(5.4%)の減収となりました。営業利益は、エンジニアリング事業の売上拡大や、ナフサ・石炭等の原燃料価格下落の影響が販売価格下落の影響を上回ったことによる交易条件の改善があったものの、在庫受払差の悪化や固定費の増加により、447億円と前年同期に比べ26億円(5.6%)の減益となりました。営業外損益は為替差損益の改善により前年同期に比べ33億円の増益となり、経常利益は457億円と前年同期に比べ6億円(1.4%)の増益となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、米国でスパッタリングターゲットの製造・販売を行っている連結子会社トソー・SMD, Inc. の固定資産に係る減損損失191億円を計上したことにより、74億円と前年同期に比べ176億円(70.4%)の減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

石 油 化 学 事 業

エチレンは、四日市事業所エチレンプラントの非定修年のため生産量は増加しましたが、コンビナート内の需要減少により出荷は減少しました。プロピレンは、非定修年による生産量増加に伴い、出荷が増加しました。キュメンは、非定修年ではありましたが、需要減少により出荷は減少しました。また、ナフサ価格の下落により、エチレン及びプロピレンの販売価格は下落しました。海外市況下落の影響を受け、キュメンの販売価格は下落しました。

ポリエチレン樹脂の内需は、需要が低調なため、出荷が減少しました。輸出はEVA樹脂の海外市況が悪化しているため、出荷が減少しました。ナフサ価格の下落により、ポリエチレン樹脂の販売価格は下落しました。クロロプレノゴムは、前年同期並みの出荷となり、価格は正により販売価格は上昇しました。

この結果、売上高は、前年同期に比べ165億円(15.5%)減少し897億円となり、営業利益は、ポリエチレン樹脂の交易条件が改善したものの、出荷の減少や在庫受払差の悪化などにより、前年同期に比べ31億円(43.0%)減少し41億円となりました。

ク ロ ル ・ ア ル カ リ 事 業

苛性ソーダは、南陽事業所の定期修繕規模の違いによる生産量の減少に伴い出荷が減少し、海外市況の上昇により輸出価格は上昇しました。塩化ビニルモノマーは、南陽事業所の定期修繕規模の違いによる生産量の減少に伴い出荷が減少しました。塩化ビニル樹脂は、海外出荷が増加しました。また、海外市況の下落により塩ビ製品の海外向け販売価格は下落しました。

セメントは、需要低調により出荷が減少しましたが、国内販売価格は上昇しました。

ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)は、南陽事業所の定期修繕規模の違いによる生産量の減少により出荷が減少し、海外市況の下落及び為替の影響により販売価格は下落しました。ヘキサメチレンジイソシアネート(HDI)系硬化剤は、市況の低迷に伴い販売価格が下落し、出荷も減少しました。

この結果、売上高は前年同期に比べ192億円(10.3%)減少し1,661億円となり、営業利益は、原燃料価格の下落により苛性ソーダやMDIの交易条件が改善したものの、出荷の減少、在庫受払差の悪化や固定費の増加により、前年同期に比べ49億円減少し3億円の損失となりました。

機 能 商 品 事 業

エチレンアミンは、アジア地域で出荷が増加しましたが、海外市況の下落や為替の影響により販売価格は下落しました。

計測関連商品は、欧米向けで液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が減少しました。診断関連商品は、国内及び中国向けで体外診断用医薬品の出荷が減少しました。

ハイシリカゼオライトは、北米向け石油化学用途や欧州・中国・インド各地域向け自動車用途の出荷が増加しました。ジルコニアは、東アジア地域の出荷が堅調に推移しましたが、北米の歯科材料用途の出荷が減少し、全体としては前年同期を下回りました。石英ガラスは、液晶用途において事故の影響で前年同期に生産量が減少していたものが解消して出荷が増加しました。スパッタリングターゲットは、海外において出荷が増加しましたが、構成差等により販売価格は下落しました。電解二酸化マンガンは、欧州地域での出荷が増加しましたが、アジア地域での出荷が減少し、全体としては前年同期並みの出荷となりました。

この結果、売上高は、前年同期に比べ13億円(1.0%)減少し1,351億円となり、営業利益は、在庫受払差の悪化や固定費の増加により、前年同期に比べ8億円(3.9%)減少し207億円となりました。

エ ン ジ ニ ア リ ン グ 事 業

水処理エンジニアリング事業は、電子産業分野において日本や台湾で前年までに受注した半導体関連のプラント案件の工事が順調に進捗したほか、設備保有型サービスや各種のメンテナンスなどソリューション案件が好調に推移したことから、売上高が増加しました。

建設子会社の売上高は増加しました。

この結果、売上高は前年同期に比べ89億円(11.5%)増加し858億円となり、営業利益は前年同期に比べ59億円(46.9%)増加し185億円となりました。

そ の 他 事 業

運送・倉庫、検査・分析、情報処理等その他事業会社の売上高は減少しました。

この結果、売上高は前年同期に比べ4億円(1.6%)減少し224億円となり、営業利益は前年同期に比べ3億円(18.0%)増加し18億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産、有形固定資産の減少等により、前期末に比べ273億円減少し1兆3,000億円となりました。

負債は、短期借入金、支払手形及び買掛金の減少等により、前期末に比べ141億円減少し4,108億円となりました。

純資産は、配当金の支払、自己株式の取得、為替換算調整勘定の減少等により、前期末に比べ132億円減少し8,892億円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

現金及び現金同等物は、前期末に比べ57億円減少し、1,331億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、570億円の収入となりました。税金等調整前中間純利益が減少したものの、売上債権、法人税等の支払額の減少等により資金が増加し、前年同期に比べ79億円収入が増加いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、352億円の支出となりました。設備投資による支出の減少等により、前年同期に比べ119億円支出が減少いたしました。

この結果、フリー・キャッシュ・フローは前年同期に比べ198億円収入が増加し、218億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、270億円の支出となりました。短期借入金の減少、自己株式の取得により、前年同期に比べ114億円支出が増加いたしました。

(4) 研究開発費に関する説明

当中間連結会計期間の研究開発費の総額は約112億円であります。

なお、当中間連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2025年5月13日に公表した予想値を下記の通り修正しました。

なお、通期業績における下期の前提は、国産ナフサ価格を64,000円/KL、為替レートを145円/US\$としております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,050,000	百万円 108,000	百万円 106,000	百万円 62,000	円 銭 194.66
今回発表予想 (B)	1,020,000	103,000	103,000	38,000	119.53
増減額 (B－A)	△30,000	△5,000	△3,000	△24,000	
増減率 (%)	△2.9	△4.6	△2.8	△38.7	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	1,063,382	98,906	103,005	58,002	182.13

詳細については、本日公表しました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	141,548	134,779
受取手形、売掛金及び契約資産	295,897	282,329
商品及び製品	154,190	152,699
仕掛品	21,204	27,857
原材料及び貯蔵品	72,429	68,300
その他	69,939	65,858
貸倒引当金	△825	△815
流動資産合計	754,383	731,011
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	133,641	127,574
土地	68,449	68,201
その他(純額)	215,248	212,172
有形固定資産合計	417,338	407,948
無形固定資産	14,380	14,687
投資その他の資産		
投資有価証券	70,132	74,175
退職給付に係る資産	45,647	46,021
その他	25,814	26,589
貸倒引当金	△399	△401
投資その他の資産合計	141,194	146,385
固定資産合計	572,914	569,022
資産合計	1,327,298	1,300,033

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	117,523	109,247
短期借入金	133,005	120,175
未払法人税等	10,683	14,400
引当金	14,292	16,516
その他	57,988	54,100
流動負債合計	333,493	314,439
固定負債		
長期借入金	46,099	52,135
引当金	3,541	1,373
退職給付に係る負債	19,238	19,437
その他	22,508	23,421
固定負債合計	91,387	96,367
負債合計	424,880	410,807
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,173	55,173
資本剰余金	44,338	44,469
利益剰余金	682,577	674,027
自己株式	△9,585	△15,906
株主資本合計	772,503	757,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,008	21,120
為替換算調整勘定	24,370	19,914
退職給付に係る調整累計額	12,186	11,523
その他の包括利益累計額合計	54,565	52,557
新株予約権	40	40
非支配株主持分	75,308	78,863
純資産合計	902,418	889,225
負債純資産合計	1,327,298	1,300,033

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	527,623	499,139
売上原価	401,390	374,899
売上総利益	126,233	124,239
販売費及び一般管理費	78,845	79,497
営業利益	47,387	44,742
営業外収益		
受取利息	568	699
受取配当金	791	1,015
持分法による投資利益	1,580	1,216
その他	1,842	1,276
営業外収益合計	4,783	4,209
営業外費用		
支払利息	1,412	1,703
為替差損	5,284	574
その他	367	931
営業外費用合計	7,065	3,209
経常利益	45,106	45,741
特別利益		
固定資産売却益	38	13
投資有価証券売却益	1,576	2,415
関係会社株式売却益	—	74
特別利益合計	1,615	2,503
特別損失		
固定資産売却損	100	2
固定資産除却損	1,189	883
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	0	—
減損損失	9	19,255
特別損失合計	1,299	20,140
税金等調整前中間純利益	45,421	28,104
法人税等	16,208	14,333
中間純利益	29,212	13,770
非支配株主に帰属する中間純利益	4,271	6,393
親会社株主に帰属する中間純利益	24,941	7,377

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	29,212	13,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△634	3,061
為替換算調整勘定	11,714	△5,092
退職給付に係る調整額	△1,002	△693
持分法適用会社に対する持分相当額	621	262
その他の包括利益合計	10,698	△2,461
中間包括利益	39,910	11,309
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	34,511	5,370
非支配株主に係る中間包括利益	5,399	5,938

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	45,421	28,104
減価償却費	22,517	23,771
減損損失	9	19,255
退職給付に係る資産負債の増減額	△1,652	△1,079
受取利息及び受取配当金	△1,360	△1,715
支払利息	1,412	1,703
為替差損益(△は益)	1,184	△1,798
持分法による投資損益(△は益)	△1,580	△1,216
投資有価証券評価損益(△は益)	0	—
固定資産売却損益(△は益)	61	△11
固定資産除却損	1,189	883
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,576	△2,415
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△74
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△2,098	10,422
棚卸資産の増減額(△は増加)	7,422	△4,320
仕入債務の増減額(△は減少)	3,455	△4,700
その他	△8,743	△1,093
小計	65,663	65,714
利息及び配当金の受取額	2,210	2,756
利息の支払額	△1,424	△1,718
法人税等の支払額	△17,393	△9,767
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,056	56,984
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△44,269	△36,540
固定資産の売却による収入	327	31
投資有価証券の取得による支出	△328	△86
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,978	2,748
貸付けによる支出	△2,054	△1,938
貸付金の回収による収入	1,740	1,979
その他	△4,496	△1,413
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,102	△35,219
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,379	△15,769
長期借入れによる収入	15,372	19,292
長期借入金の返済による支出	△6,400	△6,294
配当金の支払額	△14,304	△15,898
非支配株主への配当金の支払額	△1,579	△2,356
自己株式の取得による支出	△7	△6,508
その他	△313	567
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,613	△26,967
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,995	△544
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,664	△5,746
現金及び現金同等物の期首残高	148,970	138,849
現金及び現金同等物の中間期末残高	139,306	133,103

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年8月5日の取締役会決議に基づき、自己株式2,794,000株の取得を行っております。

この結果、当中間連結会計期間において自己株式が6,496百万円増加し、当該自己株式の取得等により、当中間連結会計期間末において自己株式が15,906百万円となっております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めております。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジン アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	106,163	185,246	136,439	76,959	22,814	527,623	—	527,623
セグメント間の内部 売上高又は振替高	78,044	24,568	11,513	9,743	33,010	156,879	△156,879	—
計	184,207	209,814	147,953	86,703	55,824	684,503	△156,879	527,623
セグメント利益	7,268	4,538	21,516	12,579	1,484	47,387	—	47,387

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジン アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	89,655	166,088	135,107	85,843	22,443	499,139	—	499,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59,355	22,301	10,387	9,267	34,394	135,706	△135,706	—
計	149,010	188,390	145,495	95,110	56,837	634,845	△135,706	499,139
セグメント利益 又は損失(△)	4,145	△315	20,688	18,473	1,751	44,742	—	44,742

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「機能商品」セグメントにおいて、当中間連結会計期間で19,094百万円の減損損失を計上しております。

3. 補足情報

2025年度第2四半期(中間期)連結決算概要

(1)業績

(単位:億円)

	2024年度 中間期	2025年度 中間期	増 減	2024年度	2025年度(予想)
売 上 高	5, 276	4, 991	△ 285	10, 634	10, 200
営 業 利 益	474	447	△ 26	989	1, 030
経 常 利 益	451	457	6	1, 030	1, 030
親会社株主に帰属する中間 (当期)純利益	249	74	△ 176	580	380
1株当たり中間(当期)純利益	78円32銭	23円21銭	△55円11銭	182円13銭	119円53銭

(注)億円未満は四捨五入

(2)指標

	2024年度 中間期	2025年度 中間期	増 減	2024年度	2025年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	152. 8	146. 0	△ 6. 7	152. 6	145. 5
為替[TTM期中平均](円/EUR)	166. 1	168. 1	2. 0	163. 9	169. 0
国産ナフサ価格(円/KL)	77, 950	64, 750	△ 13, 200	75, 625	64, 375

設 備 投 資 額	442	382	△ 60	812	990
減 価 償 却 費	217	229	11	457	470
研 究 開 発 費	108	112	4	221	240
期 末 有 利 子 負 債	1, 901	1, 786	△ 115	1, 858	2, 310
金 融 収 支	△ 1	0	1	1	△ 9
自 己 資 本 比 率 (%)	61. 5	62. 3	0. 8	62. 3	59. 0
期 末 従 業 員 数 (人)	14, 717	14, 944	227	14, 813	15, 100

(注)億円未満は四捨五入

(3)トピックス

- 2025年度 冬 予定 スパッタリングターゲット製造設備の生産能力を増強
- 2026年 春 予定 分離精製剤の生産能力を増強
- 2026年 春 予定 バイオマス発電所を新設
- 2026年 夏 予定 HDI誘導品の生産能力を増強
- 2027年 春 予定 ベトナムに粗MDIスプリッターを新設
- 2027年 春 予定 分離精製剤の生産能力を増強
- 2030年 春 予定 クロロプレンゴムの生産能力を増強

(4) 事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

		2024年度 中間期	2025年度 中間期	増 減	増 減 要 因			
					数量差	価格差	交易条件	固定費差他
石油化学	売 上 高	1,062	897	△ 165	△ 42	△ 123	—	—
	営 業 利 益	73	41	△ 31	△ 7	—	10	△ 34
クロル・アルカリ	売 上 高	1,852	1,661	△ 192	△ 107	△ 84	—	—
	営 業 利 益	45	△ 3	△ 49	△ 25	—	41	△ 64
機能商品	売 上 高	1,364	1,351	△ 13	11	△ 25	—	—
	営 業 利 益	215	207	△ 8	4	—	7	△ 20
エンジニアリング	売 上 高	770	858	89	95	△ 6	—	—
	営 業 利 益	126	185	59	59	—	0	0
その他	売 上 高	228	224	△ 4	△ 5	1	—	—
	営 業 利 益	15	18	3	2	—	0	1
合計	売 上 高	5,276	4,991	△ 285	△ 48	△ 237	—	—
	営 業 利 益	474	447	△ 26	33	—	58	△ 117

(注)億円未満は四捨五入

(5) 業績予想

(単位:億円)

		2024年度	2025年度 (予想)	増 減	2025年度(予想) 内訳	
					上期	下期
石油化学	売 上 高	2,048	1,748	△ 299	897	852
	営 業 利 益	143	117	△ 25	41	76
クロル・アルカリ	売 上 高	3,734	3,451	△ 283	1,661	1,790
	営 業 利 益	95	105	10	△ 3	108
機能商品	売 上 高	2,705	2,720	16	1,351	1,369
	営 業 利 益	386	393	6	207	186
エンジニアリング	売 上 高	1,693	1,827	134	858	969
	営 業 利 益	336	381	45	185	197
その他	売 上 高	454	453	△ 1	224	229
	営 業 利 益	29	34	5	18	16
合計	売 上 高	10,634	10,200	△ 434	4,991	5,209
	営 業 利 益	989	1,030	41	447	583

(注)億円未満は四捨五入

(6) 中期経営計画事業ポートフォリオ別増減

(単位:億円)

			2024年度 中間期	2025年度 中間期	増 減
チ ェ ー ン 事 業	基礎素材	売 上 高	2, 631	2, 280	△ 351
		営 業 利 益	80	△ 7	△ 87
	付加価値素材	売 上 高	656	657	1
		営 業 利 益	100	110	10
	小計	売 上 高	3, 287	2, 937	△ 350
		営 業 利 益	180	103	△ 78
先 端 事 業	バイオサイエンス	売 上 高	340	325	△ 15
		営 業 利 益	117	106	△ 11
	高機能材料	売 上 高	651	646	△ 5
		営 業 利 益	36	37	0
	水処理エンジ	売 上 高	741	824	84
		営 業 利 益	115	174	59
	小計	売 上 高	1, 732	1, 796	63
		営 業 利 益	268	316	49
その他	売 上 高	257	259	2	
	営 業 利 益	26	28	3	
合計	売 上 高	5, 276	4, 991	△ 285	
	営 業 利 益	474	447	△ 26	

(注)億円未満は四捨五入

(単位:億円)

			2024年度	2025年度 (予想)	増 減	2025年度(予想) 内訳	
						上期	下期
チ ェ ー ン 事 業	基礎素材	売 上 高	5, 205	4, 621	△ 584	2, 280	2, 341
		営 業 利 益	141	93	△ 48	△ 7	100
	付加価値素材	売 上 高	1, 320	1, 330	10	657	673
		営 業 利 益	218	258	40	110	148
	小計	売 上 高	6, 525	5, 951	△ 574	2, 937	3, 014
		営 業 利 益	359	351	△ 8	103	248
先 端 事 業	バイオサイエンス	売 上 高	689	680	△ 9	325	355
		営 業 利 益	212	194	△ 18	106	88
	高機能材料	売 上 高	1, 272	1, 288	16	646	642
		営 業 利 益	53	70	17	37	33
	水処理エンジ	売 上 高	1, 622	1, 750	128	824	926
		営 業 利 益	311	360	49	174	186
	小計	売 上 高	3, 583	3, 719	136	1, 796	1, 923
		営 業 利 益	576	624	48	316	308
	その他	売 上 高	525	530	5	259	272
		営 業 利 益	54	55	1	28	27
合計	売 上 高	10, 634	10, 200	△ 434	4, 991	5, 209	
	営 業 利 益	989	1, 030	41	447	583	

(注)億円未満は四捨五入